

This is a story of a woman who is making artificial legs for more than 8,000 people in Rwanda.

The 3rd graders learned about Rwanda in English lesson. Rwanda is a beautiful country which is called "Land of a thousand hills".

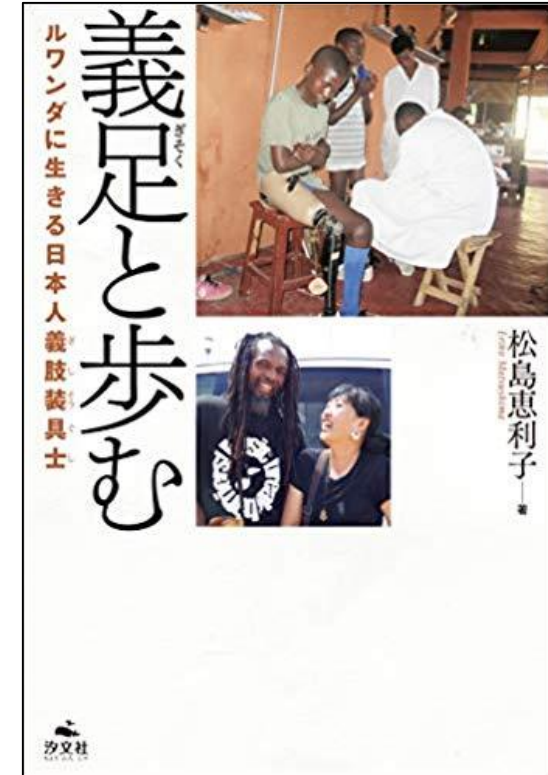
Ms.Mami Rudasingwa has lived in Rwanda for 20 years. She is making Artificial legs for people in Rwanda. There were many people who lost their legs or arms there. Why? In 1994, the genocide was happened in Rwanda, more than 8 hundred thousand people were killed. It is very terrible history. Through the genocide, many people were hurted and they lost their legs or arms. Mami decided to make their legs to support them to live again. It's a long way to go. Her husband Gatera always supports her. Why don't you read this book, then you can learn and think about how you should live. You can find this book at the school library.



Mami & Gatera

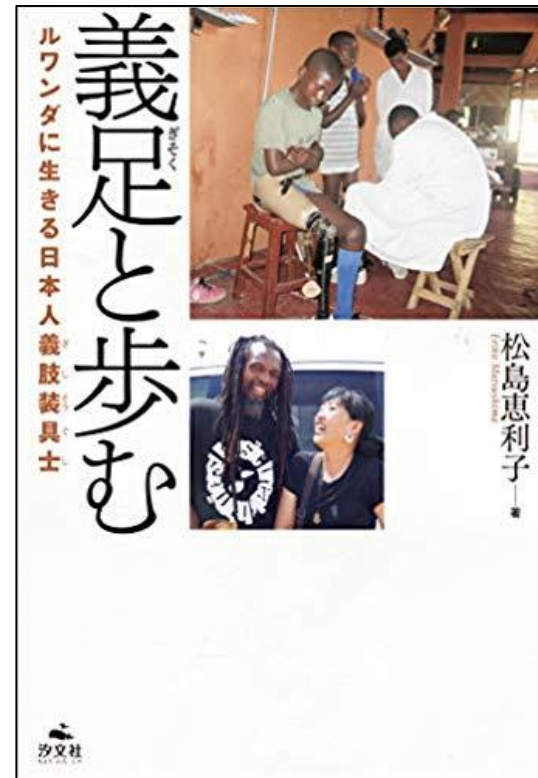
【Let's learn more on the Internet!】

ワンラブ、ルワンダ
ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
ルダシングワ真美



ルワンダで義足を作り、20年間で8000人以上に無償提供している、 ルダシングワ真美さんのお話です

3年生のみなさんは、2年の英語授業でルワンダについて学んだことを覚えているでしょうか。伊藤先生は昨年8月にルワンダを訪問し、ルダシングワさんの義足製作所やミヨベ村（ルワンダ最貧困地帯）の小学校に行きました。江北桜の皆さんが作った折り鶴もルワンダに届いたのでした。この本では、真美さんがなぜルワンダで義足を作る人生を送ることになったのか、ルワンダがどのような歴史がある国なのか、わかりやすく書かれています。



真美さんとガテラさん

【検索して、もっと調べよう】

ワンラブ、ルワンダ
ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
ルダシングワ真美

魂が揺さぶられ、生き方について考えさせられる本

「義足と歩む」を読もう！

アフリカ、ルワンダで20年以上に渡り義足を作り続け、8000人以上に無償提供をしているルダシングワ真美さん、夫のガテラさんの取組について、「義足と歩む ルワンダで生きる日本人義肢装具士」で紹介した松島恵利子さんです（写真右）。

松島さんは、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の脚本家としても活躍している作家です。自分の得意なことや好きなことを生かして、自分の足で取材をし、人と人を、日本と世界を言葉でつなぐお仕事をされている松島さんです。ぜひ「義足と歩む」を読んで、感想を松島さんに送ってみてください。

